

# フランクリン・テンプレトン・ 米ドル毎月分配型ファンド

追加型投信/海外/債券

## 交付運用報告書

第275期(決算日2024年12月18日) 第276期(決算日2025年1月20日) 第277期(決算日2025年2月18日)  
第278期(決算日2025年3月18日) 第279期(決算日2025年4月18日) 第280期(決算日2025年5月19日)

作成対象期間(2024年11月19日~2025年5月19日)

第280期末(2025年5月19日)	
基準価額	9,785円
純資産総額	5,172百万円
第275期~第280期	
騰落率	△4.3%
分配金(税込み)合計	72円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は四捨五入して表示しております。

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「フランクリン・テンプレトン・米ドル毎月分配型ファンド」は、2025年5月19日に第280期の決算を行いました。

当ファンドは、米ドル建債券への投資で得られるインカムゲインにより、米ドル短期金利水準の分配を毎月行い、米ドル原資産元本の安定した運用成果を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>  
ホームページの「ファンド情報・基準価額一覧」等から当ファンドを選択することにより、運用報告書(全体版)を閲覧及びダウンロードすることができます。

フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社

東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

お問い合わせ先

TEL 03-5219-5947

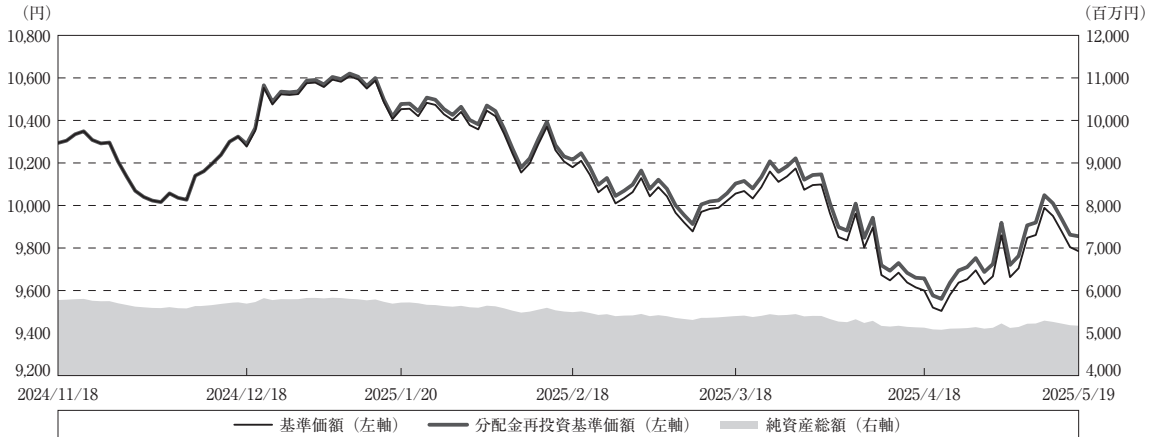
(受付時間 営業日の9:00~17:00)

<https://www.franklintempleton.co.jp>

## 運用経過

### 作成期間中の基準価額等の推移

(2024年11月19日～2025年5月19日)



第275期首：10,294円

第280期末：9,785円 (既払分配金(税込み):72円)

騰落率：△ 4.3% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2024年11月18日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の主な変動要因

当作成期の当ファンドのパフォーマンス(騰落率)は、マイナス(分配金再投資ベース)となりました。公社債利金を手堅く確保した一方、米ドル・円相場が米ドル安・円高となったことから、為替損益はマイナスとなりました。

1万口当たりの費用明細

(2024年11月19日～2025年5月19日)

項目	第275期～第280期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	50 (23) (25) ( 2)	0.494 (0.225) (0.247) (0.022)	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用 (保管費用) (監査費用) (印刷等費用)	5 ( 3) ( 0) ( 1)	0.047 (0.030) (0.005) (0.012)	(b)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用
合計	55	0.541	
作成期間の平均基準価額は、10,128円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

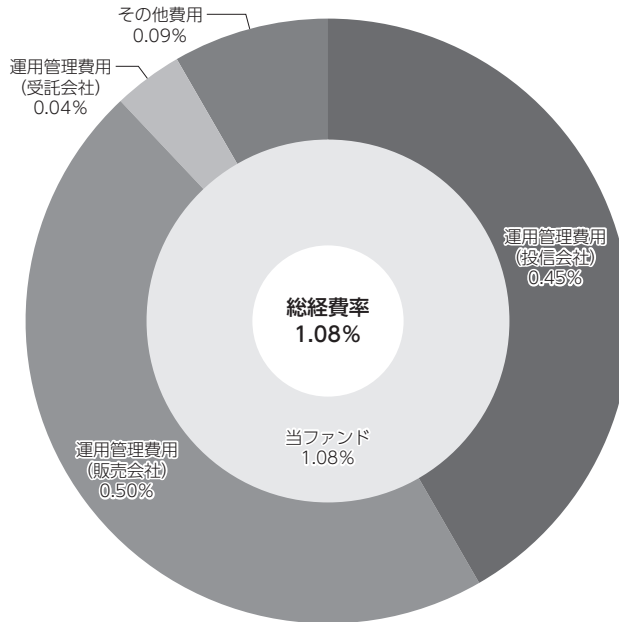
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.08%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

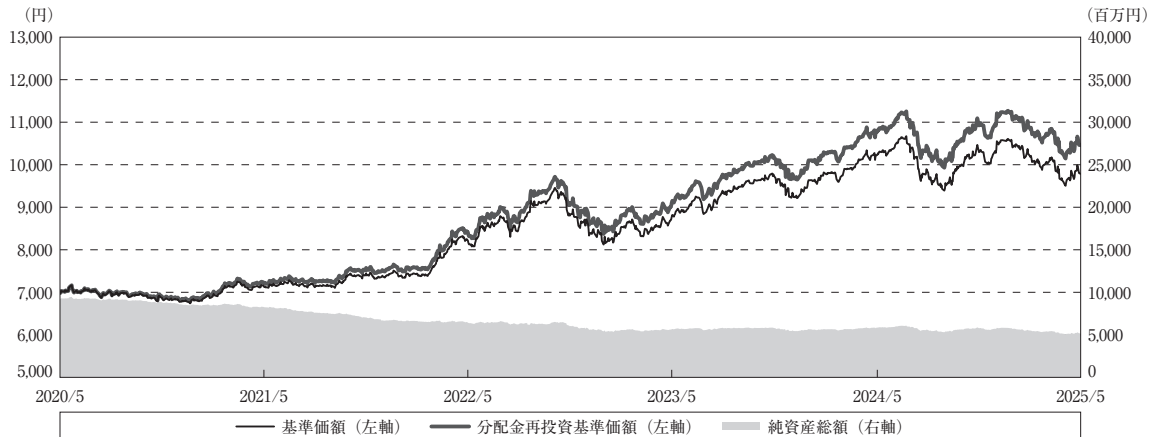
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2020年5月18日～2025年5月19日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2020年5月18日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2020年5月18日 決算日	2021年5月18日 決算日	2022年5月18日 決算日	2023年5月18日 決算日	2024年5月20日 決算日	2025年5月19日 決算日
基準価額 (円)	6,978	7,134	8,222	8,773	10,229	9,785
期間分配金合計(税込み) (円)	-	84	84	119	144	144
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	3.5	16.6	8.2	18.4	△ 3.0
純資産総額 (百万円)	9,226	8,254	6,439	5,657	5,842	5,172

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

## 投資環境

(2024年11月19日～2025年5月19日)

当作成期の米国債券市場は、長期債の利回りがほぼ横ばい、短中期債の利回りは低下（価格は上昇）しました。

期の前半は、トランプ次期米大統領が著名投資家スコット・ベッセント氏を財務長官に指名したことを受け、米国の財政赤字が急増するとの懸念が和らいだことから、利回りは低下しました。しかし、その後は米連邦公開市場委員会（FOMC）の政策金利見通しで2025年に見込む利下げ回数の減少が示されたため、利回りは上昇（価格は下落）しました。

期の半ばは、ウォラー米連邦準備制度理事会（FRB）理事が予想よりも速いペースでFRBが利下げする可能性が高まるとの見方を示したことから、利回りは低下しました。その後も、米総合購買担当者景気指数（PMI）が2023年9月以来の低水準となったことや、米消費者信頼感指数（CCI）が2021年8月以来の大幅な落ち込みを記録したことなどから、利回りは短期債を中心に一段と低下しました。

期の後半は、トランプ米大統領が全ての輸入品に一律10%の基本関税を課した上で、更に相互課税を上乗せすると発表したことから、貿易戦争や世界的な景気後退を巡る懸念が強まったため、利回りは短期債を中心に急低下しました。しかし、その後はトランプ米大統領の二転三転する関税政策が市場の混乱を招き、安全資産である債券まで売り圧力にさらされた結果、利回りは急上昇しました。米国雇用統計での予想を上回る雇用者数の伸びや米中の一時的な関税引き下げ合意、格付け会社ムーディーズによる米国国債の格下げも利回りの上昇要因となりました。

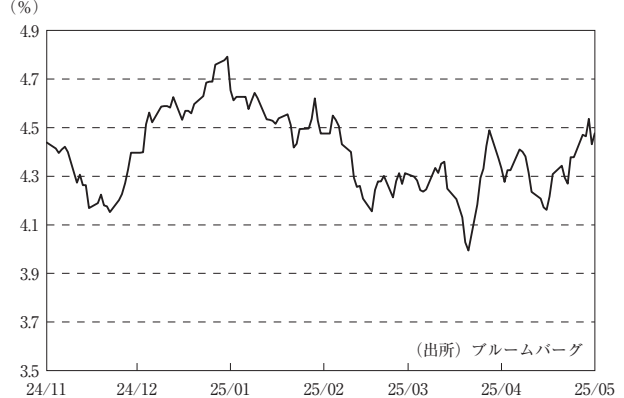
社債セクターについては、スプレッド（国債に対する上乗せ金利）が拡大しました。資産担保証券（ABS）セクターについてもスプレッドが拡大したものの、モーゲージ証券（MBS）セクターのスプレッドは縮小しました。

当作成期の米ドル・円相場は、米ドル安・円高となりました。

期の前半は、東京都都区消費者物価指数（CPI）が市場予想を上回ったことで、日銀が追加利上げに踏み切るのではないかとの思惑が強まったため、米ドル安・円高が進みました。しかし、その後はFRBがFOMCの政策金利見通しで利下げペースの鈍化を示唆したことに加え、日銀が金融政策決定会合で利上げを見送る方針を決定したことから、タカ派寄りのFRBとハト派寄りの日銀の対比が意識され、米ドル高・円安が進行しました。

期の半ばは、日本の毎月勤労統計調査で名目賃金の伸び率が市場予想を上回ったことなどから、日銀による利上げ継続期待が高まり、米ドル安・円

米国10年国債利回りの推移



米ドル／円相場の推移



高が進みました。トランプ米政権の関税措置による貿易戦争激化への懸念から、投資家のリスク回避姿勢が強まったことも、安全資産とされる日本円が対米ドルで上昇する要因となりました。

期の後半は、トランプ米大統領による相互課税などの発表を受けて、投資家のリスク回避姿勢が強まったため、安全資産とされる日本円が対米ドルで上昇しました。しかし、その後は米中が相互関税を一時的に引き下げることで合意し、世界の2大経済大国の貿易戦争で世界的な景気後退が引き起こされるとの懸念が和らいだことから、米ドル高・円安が優勢となりました。

## 当ファンドのポートフォリオ

(2024年11月19日～2025年5月19日)

当ファンドは、主に「フランクリン・テンプルトン・米国短期投資適格債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主として米国の国債、政府機関債、事業債、モーゲージ担保債務証券等を含むモーゲージ証券、資産担保証券等を中心に投資を行い、安定した収益の確保を目指して運用に努めてまいりました。主たる投資対象である個別債券は、原則としてS&P、ムーディーズ、フィッチ・レーティングスのうち1社以上の格付機関からBBB-/Baa3格以上の格付けを付与されているものとし、ポートフォリオの平均格付けはA-/A3格以上を維持します。当作成期の運用においては、引き続き高格付債券への投資比率を高位に保ちました。

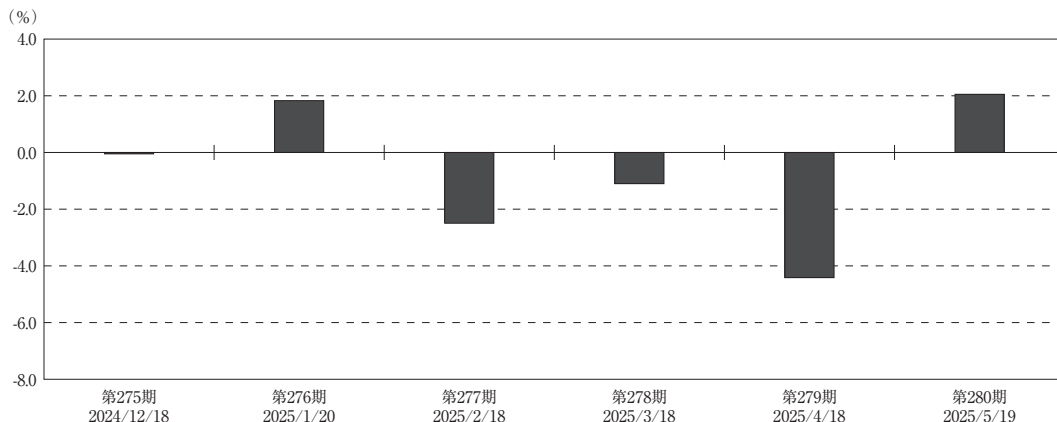
## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2024年11月19日～2025年5月19日)

市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

以下のグラフは、作成期間の当ファンドの期別基準価額騰落率です。

基準価額（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

## 分配金

(2024年11月19日～2025年5月19日)

分配金につきましては、基準価額動向や保有債券の利子収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

### ○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税込み)

項 目	第275期	第276期	第277期	第278期	第279期	第280期
	2024年11月19日～ 2024年12月18日	2024年12月19日～ 2025年1月20日	2025年1月21日～ 2025年2月18日	2025年2月19日～ 2025年3月18日	2025年3月19日～ 2025年4月18日	2025年4月19日～ 2025年5月19日
当期分配金	12	12	12	12	12	12
(対基準価額比率)	0.117%	0.115%	0.118%	0.119%	0.125%	0.122%
当期の収益	12	12	12	12	12	12
当期の収益以外	-	-	-	-	-	-
翌期繰越分配対象額	3,615	3,645	3,662	3,677	3,692	3,716

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

当ファンドは、主として米国の国債、政府機関債、事業債、モーゲージ担保債務証券等を含むモーゲージ証券、資産担保証券等を中心に投資を行うファンドです。今後も引き続き、組入債券の信用リスク、金利リスク等に配慮しつつ銘柄を厳選し、運用に注力していく所存です。

## お知らせ

### <主な約款変更に関するお知らせ>

2023年11月の「投資信託及び投資法人に関する法律」（以下、「投信法」）の一部改正に伴い、投信法第14条第1項に規定する事項を記載した書面（運用報告書（全体版））に記載すべき事項を電磁的方法により提供できるよう、投資信託約款に所要の変更を行いました。

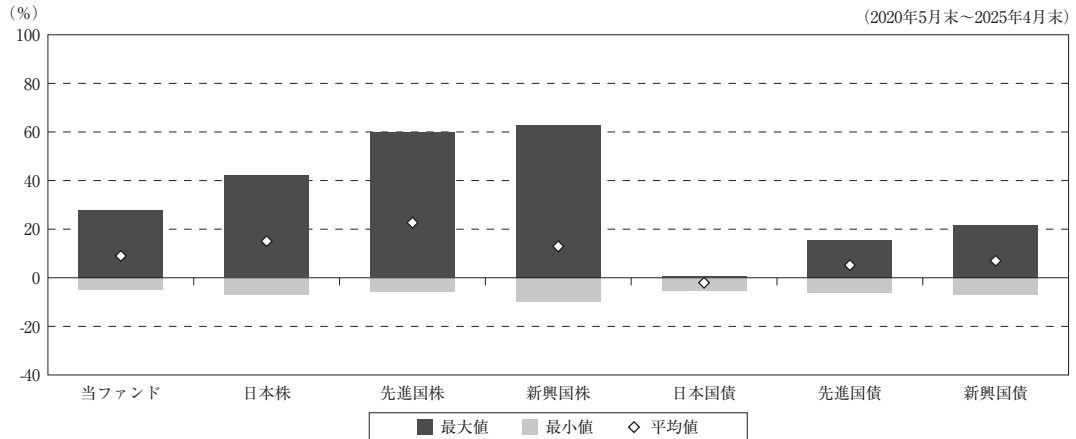
デジタル化推進のもと、今回の投信法及び関連規則等の改正により、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されております。（変更日：2025年4月1日）

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（2001年11月28日設定）	
運用方針	主として米ドル建債券に投資し、米ドル短期金利を上回るインカムゲインを獲得することにより、米ドル短期金利水準の分配を毎月行い、米ドル原資産元本の安定した運用成果を目指します。	
主要投資対象	当ファンド	「フランクリン・テンブルトン・米国短期投資適格債マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	フランクリン・テンブルトン・米国短期投資適格債マザーファンド	主として米ドル建ての米国公社債を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド	株式（新株引受権証券等を含みます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の20%以内とします。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	フランクリン・テンブルトン・米国短期投資適格債マザーファンド	外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	決算日（原則として毎月18日、休業日の場合は翌営業日）に、収益分配方針に基づいて分配を行います。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	27.9	42.1	59.8	62.7	0.6	15.3	21.5
最小値	△ 4.9	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 5.5	△ 6.1	△ 7.0
平均値	9.0	15.1	22.7	12.9	△ 2.0	5.2	7.0

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2020年5月から2025年4月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

(※) 各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

○代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

NOMURA-BPI 国債

NOMURA-BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLC に帰属します。

JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。

## 当ファンドのデータ

### 組入資産の内容

(2025年5月19日現在)

#### ○組入上位ファンド

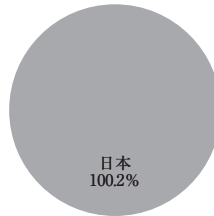
銘柄名	第280期末
フランクリン・templton・米国短期投資適格債マザーファンド	100.2%
組入銘柄数	1銘柄

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

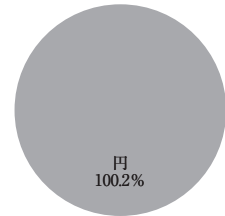
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

### 純資産等

項目	第275期末	第276期末	第277期末	第278期末	第279期末	第280期末
	2024年12月18日	2025年1月20日	2025年2月18日	2025年3月18日	2025年4月18日	2025年5月19日
純資産総額	5,691,970,069円	5,716,749,350円	5,491,774,275円	5,402,053,088円	5,126,821,317円	5,172,528,377円
受益権総口数	5,538,329,784口	5,469,217,417口	5,394,851,774口	5,372,145,764口	5,340,537,681口	5,286,061,191口
1万口当たり基準価額	10,277円	10,453円	10,180円	10,056円	9,600円	9,785円

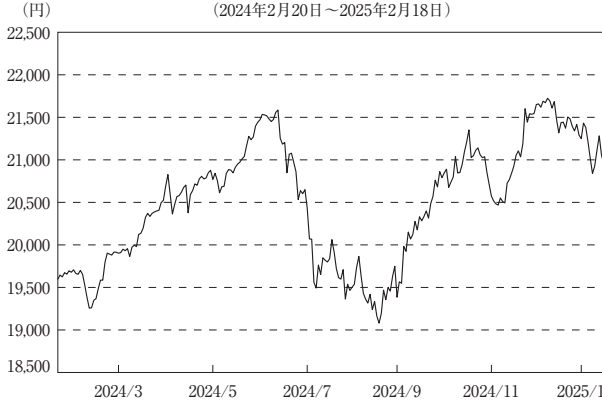
\* 当作成期間（第275期～第280期）中における追加設定元本額は39,963,750円、同解約元本額は365,548,562円です。

組入上位ファンドの概要

フランクリン・テンプルトン・米国短期投資適格債マザーファンド

【基準価額の推移】

(2024年2月20日～2025年2月18日)



【1万口当たりの費用明細】

(2024年2月20日～2025年2月18日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) その他費用 ( 保管費用 )	12 (12)	0.057 (0.057)
合計	12	0.057

期中の平均基準価額は、20,520円です。

- (注) 上記項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

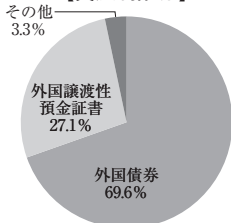
【組入上位10銘柄】

(2025年2月18日現在)

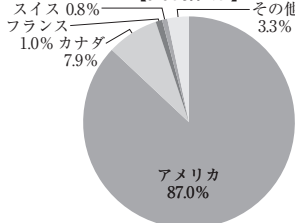
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 US TREASURY BILL 0% 2025/3/20	国債証券	米ドル	アメリカ	6.2%
2 US TREASURY BILL 0% 2025/3/4	国債証券	米ドル	アメリカ	6.0%
3 US TREASURY BILL 0% 2025/2/25	国債証券	米ドル	アメリカ	5.4%
4 US TREASURY BILL 0% 2025/7/24	国債証券	米ドル	アメリカ	2.9%
5 FEDERAL FARM CREDIT BANK 5% 2025/3/10	普通社債券	米ドル	アメリカ	2.7%
6 OVERSEA-CHINESE BK C	譲渡性預金証券	米ドル	アメリカ	2.3%
7 SKANDINAV ENSKILDA B	譲渡性預金証券	米ドル	アメリカ	2.2%
8 SUMITOMO MITSUI TRUS	譲渡性預金証券	米ドル	アメリカ	2.2%
9 US TREASURY NOTE 4.25% 2026/1/31	国債証券	米ドル	アメリカ	2.2%
10 BANK OF MONTREAL CHI	譲渡性預金証券	米ドル	アメリカ	1.9%
組入銘柄数	98銘柄			

- (注) 比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
- (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。
- (注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

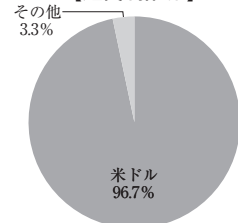
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



- (注) 比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
- (注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。